


軒天施工要領

■ 軒天12、軒天14用通気部材 防耐火認定適用一覧

項目		軒天換気金物		軒天通気見切縁		
		KBM1J2(熱発泡材付き)	KBM1	KBM2N□□	KCM2N□□J2(熱発泡材付き)	KCM2N□□
軒天	軒天12	30分準耐火仕様 QF030RS-0157	非防耐火仕様	30分準耐火仕様 QF030RS-0156	—	—
	軒天14	—	—	—	45分準耐火仕様 QF045RS-0053	非防耐火仕様

■ 軒天 国土交通大臣認定番号・物性表

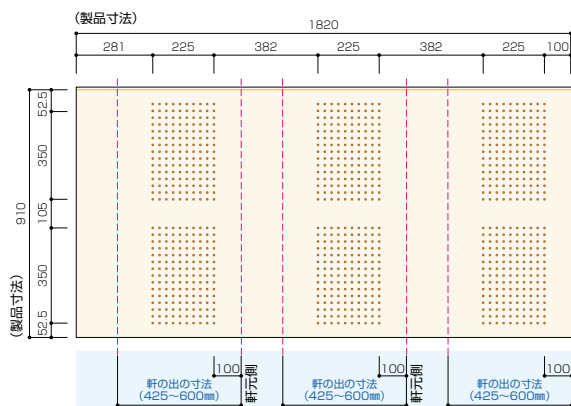
項目		軒天12	軒天14	軒天18	軒天5	備考
基材名称		パルプ繊維混入セメント板			化粧スラグせっこう板	
認定番号	不燃材料番号	NM-3010 (有孔板除く)	NM-3011 (有孔板除く)	NM-3011	NM-8315 (有孔板除く)	
	軒裏1時間準耐火構造	無孔板	—	—	QF060RS-9121	
	軒裏45分準耐火構造	無孔板	—	QF045RS-9122	※1	—
		無孔板+軒天通気見切縁	—	QF045RS-0053	—	—
	軒裏30分準耐火構造(防火構造)	無孔板	QF030RS-0154	※2	※1	—
無孔板+軒天換気金物		QF030RS-0157	—	—	—	
無孔板+軒天通気見切縁		QF030RS-0156	※3	—	—	
防火有孔板		QF030RS-0155	—	—	—	
物性	比重(絶乾)	0.98	0.95	0.90	0.98	平均値
	含水率	20%以下				JIS A 5422に準ずる
	曲げ破壊荷重(N)	690以上	785以上		—	JIS A 1408(3号試験体)
	曲げ強度	—	—	—	10.5N/mm以上	JIS A 1408(3号試験体)
	耐透水性	10mm以下				自社測定法
対応下地工法	鉄骨下地直張り	×				
	鉄骨木下地	▲				
	木造下地	○				

 鉄骨木下地での施工には右記点にご注意ください。	鉄骨下地の寸法について	(軒の出500mm以下の場合) 溝型鋼 60×30×1.6mm以上 (軒の出500mmを越え1000mm以下の場合) リップ溝型鋼 60×30×2.3mm以上 ※軒天は木下地を施工後、専用釘で留め付けます。
	鉄骨木下地に対応している認定番号について	(軒天14) QF045RS-9122 (軒天18) QF060RS-9121

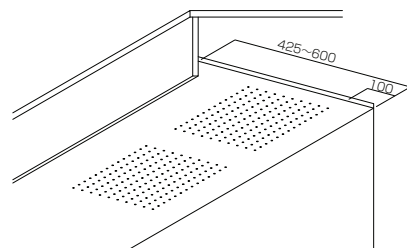
※1 [QF060RS-9121] で対応可能です。
 ※2 [QF045RS-9122] で対応可能です。
 ※3 [QF045RS-0053] で対応可能です。

■ 防火有孔板の切断について

- 下図のように孔の位置が軒元側の板端より100mm以上となるように切断してください。
- 長手方向への切断は行わないでください。(切断が必要な位置には無孔板を使用してください)



有効換気面積
 $10列 \times 15行 \times 2 = 84.7\text{cm}^2 \times 3カ所$



■ 軒天の施工要領一覧 (木造下地のみ。)

防耐火性能	軒天の種類 ※4		構造認定番号	材料認定番号	軒裏の構造	軒の出対応寸法 (mm) ※5	野縁の施工 ※6、※7			軒天の留付け		軒元納まり	軒裏勾配	
							組み方	サイズ		野縁の間隔 (mm)	留付け材			留付間隔 (mm)
								軒の出 500mm以下	軒の出500mmを超え1000mm以下					
30分準耐火構造	軒天12	無孔板	QF030RS-0154	NM-3010	木造 (木下地)	1000以下 ※9	平行	木製30×40以上	500以下	φ2.3×38以上	出方向: 225以下 幅方向: 225以下	軒勝ち・壁勝ち	水平・勾配	
		防火有孔板	QF030RS-0155	—					出方向: 500以下 幅方向: 455以下					
		無孔板+ ※8 軒天通気見切縁	QF030RS-0156	NM-3010					出方向: 500以下 幅方向: 455以下					
		無孔板+ ※8 軒天換気金物	QF030RS-0157						出方向: 225以下 幅方向: 225以下					
45分準耐火構造	軒天14	無孔板	QF045RS-9122	NM-3011	木造 (木下地) 鉄骨造 (鉄骨下地+木下地)	1000以下	平行	木製30×40以上	500以下	φ2.5×43以上	出方向: 225以下 幅方向: 225以下	軒勝ち・壁勝ち	水平・勾配	
		溝型鋼60×30×1.6以上+ 木製30×40以上	木製35×40以上					出方向: 軒先・軒元 幅方向: 455以下						
1時間準耐火構造	軒天18	無孔板	QF060RS-9121	NM-3011	木造 (木下地) 鉄骨造 (鉄骨下地+木下地)	1000以下	梯子	木製30×40以上	500以下	φ2.75×50以上	出方向: 225以下 幅方向: 225以下	軒勝ち・壁勝ち	水平・勾配	
		溝型鋼60×30×1.6以上+ 木製30×40以上	木製35×40以上					出方向: 軒先・軒元 幅方向: 455以下						
—	軒天12	有孔板	—	—	施工要領は、軒天12無孔板・軒天14無孔板に各々準じる (軒の出対応寸法を除く)							軒勝ち・壁勝ち	水平・勾配	
	軒天14	有孔板												
	軒天5	有孔板			NM-8315	木造 (木下地)	—	梯子	木製30×40以上	出方向: 500以下 幅方向: 303以下	φ1.9×32以上			出方向: 200以下 幅方向: 225以下

施工要領の詳細は、最新の設計施工資料集モエン標準施工編をご確認ください。

- ※4 全面有孔板は材料認定および構造認定を取得していません。
- ※5 軒の出とは外壁面から破風下地先端までをいいます。
- ※6 軒の出500mmを超える場合は吊り木が必要。
- ※7 軒天の左右接合部は野縁2本組とします。
- ※8 軒天通気見切縁、軒天換気金物の部材はそれぞれ必要です。
- ※9 軒の出は1000mm以下ですが、軒天600mmを超える場合は製品上1枚で1カ所となります。軒天425mm未満は不可。

■ 軒天 建築用途と防耐火基準

用途	地域	階数	延床面積 = S (㎡)	防火規制	適合商品
共同住宅	防火地域 (法61条)	1階建・2階建	S ≤ 100	軒裏45分準耐火構造 ※10	軒天14 / 軒天18 ※14
		3階建	S ≤ 1500	軒裏1時間準耐火構造	軒天18
	準防火地域 (法62条)	1階建・2階建	S ≤ 500	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14
			500 < S ≤ 1500	軒裏45分準耐火構造 ※10	軒天14 / 軒天18 ※14
	法22条区域	3階建	S ≤ 3000	軒裏1時間準耐火構造 ※各種条件をみたさないものは耐火構造となります	軒天18
		1階建・2階建 (2階 300㎡以上)	100 < S ≤ 3000	軒裏45分準耐火構造 ※10	軒天14 / 軒天18 ※14
1階建・2階建 (2階 300㎡未満)		1000 < S ≤ 3000	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14	
戸建住宅	防火地域 (法61条)	1階建・2階建	S ≤ 100	軒裏45分準耐火構造 ※10	軒天14 / 軒天18 ※14
		3階建	S ≤ 500	軒裏防火構造 (準防3階建て仕様) ※13	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14
	準防火地域 (法62条)	1階建・2階建	500 < S ≤ 1500	軒裏45分準耐火構造 ※10	軒天14 / 軒天18 ※14
			S ≤ 500	軒裏防火構造	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14
	法22条区域	3階建 (大規模建築物: 木造) ※11	S ≤ 3000	軒裏1時間準耐火構造	軒天18
			S ≤ 1000	軒裏については規制なし	軒天 [全商品]
		3階建	1000 < S ≤ 3000	軒裏防火構造 ※12	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14
			S ≤ 1000	軒裏については規制なし	軒天 [全商品]
1階建・2階建	1000 < S ≤ 3000	軒裏防火構造 ※12	軒天12 / 軒天14 / 軒天18 ※14		

- ※10 準耐火建築物のイ 準耐・ロ 準耐に適合する構造とすることもできます。
- ※11 大規模建築物の木造3階建の基準とした場合、高さ制限はありません。(法21条一項ただし書きより)
- ※12 高さ>16m、かつ階高>3階を超えるものは特殊な場合を除き、大規模建築物の制限を受け、外壁は耐火性能を有するものとなります。
- ※13 「※13の防火構造」以外の1時間準耐火構造、45分準耐火構造、防火構造、準防火性能とあるのは、建築の延長のおそれのある部分の要求性能です。
- ※14 全面有孔板は除く。
- ※ 詳しくは最新の「設計施工資料集・モエン標準施工編」をご参照ください。